

TSR - Press Release

新しいストレージソリューションを発表

**2013年ストレージソリューション市場規模は3,713億円、対前年比4.6%増
ユーザーが抱えている問題と対応ソリューション
拡大するFlash/SSD市場**

株式会社 テクノ・システム・リサーチは『2014年版ストレージソリューション市場のマーケティング分析』を発刊し、ストレージソリューションの市場規模を発表致しました。

※ストレージソリューションとは、ストレージシステム構築に関わるハードウェア、ソフトウェア、保守サービス、プロフェッショナルサービスを指しています。

2013年のストレージソリューションの市場規模は3,713億円、対前年比4.6%の増加となりました。

災害対策としてデデュープ機能を活用した展開や、スケールアウト、All Flash/SSDストレージといったユーザーの課題点を補う形で、新たなストレージ製品の提供が開始されてきていることが需要の増加につながっています。

TSRでは今後ストレージソリューション市場は2018年にかけて年間平均成長率4.7%で推移していき2018年には市場規模は4,670億円達すると予想しています。

今回のユーザー（情報システム部門）あるいはクラウドサービス事業者からの取材により、現状のストレージにはまだまだ多くの課題があることが見えてきました。

あらゆるものがデータ化し、それを業務/ビジネス部門が様々な分析や使い方をすることにより、データ容量が増加しています。

このデータ容量増加によって、ストレージ側の処理性能の問題、バックアップ時間の増加、ストレージ移行の問題、管理の問題、容量追加の問題、コストの問題と様々な問題が顕在化してきています。

それらを最新のテクノロジーや、製品を上手く組み合わせたソリューションで対応してい

く動きが出てきています。

その中でも、ストレージデバイスが HDD から SSD へと変化していく動きが活発化してきています。デバイス的にはただ単純に性能が上がっただけですが、この性能の向上はストレージという枠組みだけではなく、システムにおける様々な課題を解決していくことに繋がっていきます。

例えば構築時、多くのシステム案件では、HW を設置した後にアプリケーションチューニングや DB チューニングを行い最適なパフォーマンスを構築していますが、その作業の目的は、HW を設置しただけでは対応できないパフォーマンスの部分を改善させることにあります。

Flash/SSD を搭載させることで、それらのチューニングの必要性が大きく減ります。もちろんより早くしたい方はチューニングすることでさらに早くなる可能性も秘めています。

ユーザーのニーズを見ると、今後 2 年以内に Flash/SSD を利用してみたいとするユーザーは昨年の調査では 48%でしたが、今回は 58%と 10 ポイント増加しています。

これは、Flash/SSD の価格が下がってきたことや導入実績が増加してきたことが要因として挙げられます。

このようなニーズを背景にして、All Flash/SSD ストレージ(HDD を搭載しないモデル)は現在大きく拡大しており、2018 年には 160 億円の市場規模まで拡大していくことが見込まれています。

【リリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

第 II グループ 幕田範之/浅沼邦明 (makuta@t-s-r.co.jp/asanuma@t-s-r.co.jp)

Tel: 03-3851-5651